

題材名 日本茶の魅力再発見！ペットボトルパッケージデザイン！（デザイン）

伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして、表現の構想を練る活動

学年	2年
場所	木工室

1. 題材について

普段私たちが何気なく手にとる商品のパッケージには、様々な工夫が施されている。デザイナーはその商品の特性や内容を表す色彩や商品名、フォントなどを、どのように消費者に印象づけ、伝えることができるか試行錯誤しながらデザインする。パッケージは人々に商品内容を伝えるために、色彩や形を工夫して作られた、私たちの生活に身近な作品ともいえるだろう。

本題材では私たち日本人に古くから親しまれてきた「日本茶」のペットボトルパッケージデザインを行う。日本茶は日常の様々な場面で喉を潤し、そして心を和ませてくれる存在である。今ではペットボトル飲料としての需要が高まっており、最近では海外や若い世代からも注目を浴びるなど、時代と共に日本茶のイメージは変化しているように思われる。今回は自分たちの見方や感じ方を通して、日本茶の価値や魅力を再発見し、それらを発信できるようなパッケージを考案する。これは学習指導要領第2学年及び第3学年の内容「A表現」(1)イ(イ)「伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。」及び「A表現」(2)ア(ア)、材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。」「B鑑賞」(1)ア(イ)〔共通事項〕(1)ア、イにあたる。

手順としては、まず始めに①鑑賞活動を通して日本茶のパッケージを構成している要素を知る ②日本茶を飲む体験を通して、パッケージデザインの基となるイメージを膨らませる ③グループで感じたことや考えたことを話し合い、日本茶の魅力が伝わるような主題(商品コンセプト)を考える ④主題を基に個々でデザインを考え、その目的や条件に合う色彩や図柄を考える、とした。このように制作に入る前に商品リサーチや試飲体験を通して、実感を持ってデザインを考えることのできる手立てをとった。また、リアリティのある作品に仕上げるために、特殊フィルムを使用した。これは出来上がった作品をボトルに巻いてお湯につけると、フィルムが収縮して、まるで本物のパッケージのように仕上がるものである。最後の鑑賞活動は新商品発表会とし、それぞれの主題を踏まえた商品提案を行う。

デザインは人がいるからこそ、その意味を成すものである。手に取る人のことを考えて主題が生み出され、伝えたいことが相手に伝わるように、根拠を持って形や色を選択し、構成できる力を育てていきたい。生徒が自らの意図を持ってパッケージのデザインを考えることを通して、普段気づかなかった日常における美術の価値、形や色彩の与える効果に気付かせ、生活や社会という文脈の中で、美術の働きを認識できる活動にしていきたい。

2. 題材の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>形や色彩などの造形の要素に着目して、それらの働きを捉える。</p> <p>発想、構想したことに基づいて、主題を明確化して表現するために、着彩や形を工夫する。</p>	<p>目的や条件などを基に主題を生み出し、豊かに発想し表現の構想を練る。</p> <p>パッケージデザインの造形的なよさや美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考える。</p>	<p>社会におけるデザインの役割に興味をもち、パッケージデザインとしての効果的な色彩や形について、そのよさや美しさを味わう。</p> <p>対話を通して他者の感じ方や考え方を知り、自己の価値観や見方を広げる。</p>

3. 指導計画（13時間扱い）


- 日本茶パッケージの分析 _____ 1
- 日本茶試飲会「玉露」「煎茶」「ほうじ茶」の特性を知る _____ 1
- グループを作り、商品企画書を作成する _____ 1
- コンセプトを基に個々でデザインを考える _____ 3
- フィルムにペンで下描きをし、アクリル絵の具で着彩する _____ 4
- 完成したフィルムをお湯につけ、ペットボトルに巻きつける _____ 1
- グループ鑑賞を行い、発表会の準備をする _____ 1
- 新商品発表会（鑑賞会）を行う _____（本時1/13）1

4. 材料・用具 等

鑑賞用ペットボトル、試飲用日本茶、パッケージフィルム、アクリル絵の具、油性マジックペン、ポット

5. 本時の指導

- 本時の目標と学習課程
 - ①目的や条件などを基に主題を生み出し、発想、構想したことに基づいて、形や色彩などの工夫を相手に分かりやすく伝えることができる。
 - ②他の班の発表を聞いたり、作品を鑑賞したりすることで、生活の中における美術の役割への関心を高め、見方や感じ方を広げることができる。

学習活動と内容	教師の支援 ★評価
○学習課題を知り、学習の見通しを持つ。	○発表方法の確認をする。 ・「玉露」「煎茶」「ほうじ茶」の各デザインチームによる発表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「日本茶パッケージ」新商品発表会！ ～商品コンセプトをもとに、パッケージデザインの工夫を伝えよう～ </div>
○作品のプレゼンテーションを行う。 	○作品を持ってグループごとに前へ出る。 ○書画カメラを使って作品をテレビに映す。 ○班の作品コンセプトと、それを表現するために各々が工夫した点を紹介する。 〈商品コンセプト例〉 <ul style="list-style-type: none"> ・日本茶の香りや味覚に焦点を当てたパッケージ ・日本茶の高級感を伝えるパッケージ ・外国人に日本茶の魅力を伝えるパッケージ ・子ども向けの日本茶パッケージ ・日本茶の効能に焦点を当てたパッケージ など 〈発表例〉 日本茶の高級感を伝えるために、背景の色は〇〇にして、文字は〇〇のようにはしました。図柄は〇〇を入れました。 ★発想、構想したことに基づいて工夫した点を、相手に分かりやすく内容を伝えることができたか。（思考・判断・表現）
○本時のまとめ	○振り返りシートに記入 ★他の班の発表を聞いたり、作品を鑑賞したりすることで、自分の見方や感じ方を広げることができたか。（主体的に学習に取り組む態度）